

基礎分野

【科目構成とねらい】

基礎分野は、生活者としての人間を理解するために、自己を含めた人間の理解と、その人間の生活と健康を理解する内容とした。更に、看護を学ぶ基礎として一貫性を持たせるように、【人間の理解】【人間と生活】【人間と健康】の3領域で科目を構成する。

【人間の理解】では、人間の持つ内面の理解や人間の成長・発達に学習が及ぼす影響、人間の持つ思考に焦点をあてて人間を理解する科目として「心理学」「教育学」「論理学」「哲学」を配置した。

【人間と生活】では、広く人間の生活を理解すること、生活を営む上で必要なコミュニケーション技術を学ぶ科目として「社会学」「家族論」「文化人類学」「物理学」「情報科学」「コミュニケーション論」「パフォーマンス論」を配置した。

【人間と健康】では、自身の心身の健康を見つめ、自己及び他者の健康づくりを学ぶ科目として、「心の健康」「運動と健康」を配置した。

【目的】

幅広い教養を学び、感じとる力を培うとともに、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性の醸成を通して、生活と健康の側面から人間を深く理解し、看護を考え、構成し、表現する力を養うことで、専門職業人として成長するための基礎的能力を養う。

【目標】

1. 生命の尊厳や倫理を学び、看護の対象である人間を理解する。
2. 人間を生活者としてとらえ、様々な環境の中でその人らしく生きる存在として理解を深める。
3. 自己理解・他者理解を深め、コミュニケーション能力を高める。
4. 社会の動向に目を向け、国際社会、情報社会に対応できる能力を養う。
5. 専門職業人として、自立的、主体的に行動できる思考力・判断力を養う。
6. 生涯学習の必要性を理解し、自ら学び続ける力を養う。

【構成および計画】

< 講義 >

領域	科目	単位数	履修時期		
			1年	2年	3年
人間の理解	心理学	1(30)	○		
	教育学	1(30)			○
	論理学	1(30)		○	
	哲学	1(30)			○
人間と健康	心の健康	1(15)	○		
	運動と健康	1(15)			○
人間と生活	社会学	1(30)		○	
	家族論	1(15)	○		
	文化人類学	1(15)			○
	物理学	1(15)	○		
	情報科学	1(30)	○		
	コミュニケーション論	1(15)	○		
	英会話	1(30)		○	
	パフォーマンス論	1(15)	○		
	合計	14	7	3	4

授業計画

科目名	心理学	単位数 (時間)	1単位 (30)	履修 時期	1年次
科目 目標	人間の心、行動に関する基礎的知識や人間理解の方法について学び、自己および他者の心、行動について理解する。				
回	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第1回	心理学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第2回	知覚と心理	講義	外部講師		
第3回	記憶と心理	講義	外部講師		
第4回	学習と心理	講義	外部講師		
第5回	認知と心理	講義	外部講師		
第6回	性格	講義	外部講師		
第7回	乳児期・幼児期の発達と心理	講義	外部講師		
第8回	児童期の発達の課題と心理	講義	外部講師		
第9回	青年期の発達の課題と心理	講義	外部講師		
第10回	成人期初期の発達の課題と心理	講義	外部講師		
第11回	老年期の発達課題と心理	講義	外部講師		
第12回	感情・動機・欲求と心理①	講義	外部講師		
第13回	感情・動機・欲求と心理②	講義	外部講師		
第14回	集団の心理	講義	外部講師		
第15回	評価	評価 方法	筆記・レポート 100点		
備考					

授業計画

科目名	教育学	単位数 (時間)	1単位 (30)	履修 時期	3年次
科目 目標	教育が、文化・社会の動態や人間の成長発達に影響することを理解するとともに生涯学習の必要性について考える。				
回	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第1回	教育とは 教育学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第2回	文化・社会と教育①	講義	外部講師		
第3回	文化・社会と教育②	講義	外部講師		
第4回	家庭教育	講義	外部講師		
第5回	学校教育①	講義	外部講師		
第6回	学校教育②	講義	外部講師		
第7回	教育方法 集団教育	講義	外部講師		
第8回	個別教育	講義	外部講師		
第9回	医療と教育	講義	外部講師		
第10回	教育評価	講義	外部講師		
第11回	生涯学習	講義	外部講師		
第12回	アンドラゴジーとペダゴジー①	講義	外部講師		
第13回	アンドラゴジーとペダゴジー②	講義	外部講師		
第14回	教育が抱える問題	講義	外部講師		
第15回	評価	評価 方法	筆記・レポート 100点		
備考					

授業計画

科目名	論理学	単位数 (時間)	1単位 (30)	履修 時期	2年次
科目 目標	論理的な考え方、表現方法の技術を学び、論理的思考力、文章表現能力を養う。				
回	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第1回	論理学とは 論理学を学ぶ意義	講義	外部講師*		
第2回	思考の根本原理	講義 演習	外部講師		
第3回	概念	講義 演習	外部講師		
第4回	命題	講義 演習	外部講師		
第5回	推論	講義 演習	外部講師		
第6回	クリティカルシンキングとは	講義	外部講師		
第7回	クリティカルシンキング演習①	演習	外部講師		
第8回	クリティカルシンキング演習②	演習	外部講師		
第9回	文章の読み方	講義 演習	外部講師		
第10回	文章の批判的な読み方	講義 演習	外部講師		
第11回	論理的文章の書き方	講義 演習	外部講師		
第12回	論理的文章を書く	講義 演習	外部講師		
第13回	論理的に表現する	講義 演習	外部講師		
第14回	ディベート	講義 演習	外部講師		
第15回	評価	評価 方法	筆記・レポート 100点		
備考					

授業計画

科目名	哲学	単位数 (時間)	1単位 (30)	履修 時期	3年次
科目 目標	哲学的思考を学習し、人間の生き方、価値観生命の尊厳について理解を深める。				
回	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第1回	哲学とは 哲学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第2回	人間の存在と認識①	講義	外部講師		
第3回	人間の存在と認識②	講義	外部講師		
第4回	理性と感情①	講義	外部講師		
第5回	理性と感情②	講義	外部講師		
第6回	責任と自由①	講義	外部講師		
第7回	責任と自由②	講義	外部講師		
第8回	生と死①	講義	外部講師		
第9回	生と死②	講義	外部講師		
第10回	幸福	講義	外部講師		
第11回	看護と現象学	講義 演習	外部講師		
第12回	生きる上での諸問題 何のために生きるのか	演習	外部講師		
第13回	生きる上での諸問題 生命倫理	演習	外部講師		
第14回	生きる上での諸問題 臓器移植	演習	外部講師		
第15回	評価	評価 方法	筆記・レポート 100点		
備考					

授業計画

科目名	心の健康	単位数 (時間)	1単位 (15)	履修 時期	1年次
科目 目標	心の健康について学ぶことで自己の内面の在り様を感じ、自己統制する方法を学ぶ。				
回	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第1回	心の健康とは	講義	外部講師		
第2回	心理臨床	講義	外部講師		
第3回	メンタルヘルス	講義	外部講師		
第4回	心の適応と不適応	講義	外部講師		
第5回	医療・看護と心理① ストレスマネジメント、セルフモニタリング	講義	外部講師		
第6回	医療・看護と心理② バーンアウト、レジリエンス、アンガーマネジメント	講義	外部講師		
第7回	ワークライフバランス	講義	外部講師		
第8回	評価	評価 方法	筆記・レポート 100点		
備考					

授業計画

科目名	運動と健康	単位数 (時間)	1単位 (15)	履修 時期	3年次
科目 目標	運動が健康に与える効果を学び、健康を維持増進するための方法を理解する。				
回	内 容	形式		担当教員 *実務経験のある教員	
第1回	運動と健康を学ぶ意義 運動が健康に与える効果	講義		外部講師	
第2回	運動理論	講義		外部講師	
第3回	体力づくり① ウォーキング・ジョギング他	演習		外部講師	
第4回	体力づくり② ウォーキング・ジョギング他	演習		外部講師	
第5回	健康づくりのプレゼンテーション	講義		外部講師	
第6回	レクリエーションの意義と進め方①	演習		外部講師	
第7回	レクリエーションの意義と進め方②	演習		外部講師	
第8回	評価	評価 方法		筆記・レポート 100点	
備考					

授業計画

科目名	社会学	単位数 (時間)	1単位 (30)	履修 時期	2年次
科目 目標	社会的存在としての人間を理解すると共に、多様な社会関係の中での物の見方・考え方を理解する。				
回	内 容		形式	担当教員 *実務経験のある教員	
第1回	社会学とは 社会学を学ぶ意義		講義	外部講師	
第2回	集団及び組織 社会集団の概念、第1次集団、第2次集団		講義	外部講師	
第3回	家族 家族の概念、家族の変容、家族の構造と形態、家族の機能		講義	外部講師	
第4回	地域社会 地域の概念、コミュニティの概念、都市化・過疎化と地域社会		講義	外部講師	
第5回	国際社会 グローバル化と地球規模の課題		講義	外部講師	
第6回	生活と経済		講義	外部講師	
第7回	生活と労働		講義	外部講師	
第8回	人と社会の関係 社会的行為、社会的役割、社会的ジレンマ等		講義	外部講師	
第9回	社会問題とは 社会問題のとらえ方、社会病理、逸脱、差別、貧困、失業、自殺、 犯罪、非行、社会的排除、ハラスメント、DV児童虐待、いじめ、 公害、環境破壊など		講義	外部講師	
第10回	多様性と社会 ジェンダー、マイノリティ、ダイバーシティ		講義	外部講師	
第11回	現代社会の課題を取り上げ、調査及び討議する①		演習	外部講師	
第12回	現代社会の課題を取り上げ、調査及び討議する②		演習	外部講師	
第13回	現代社会の課題を取り上げ、他者にプレゼンテーションする資料 の作成		演習	外部講師	
第14回	現代社会の課題の共有		演習	外部講師	
第15回	評価		評価 方法	筆記・レポート 100点	
備考					

授業計画

科目名	家族論	単位数 (時間)	1単位 (15)	履修 時期	1年次
科目 目標	集団としての家族の構造と機能について理解し、現代家族の諸問題を考える。				
回	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第1回	家族とは 家族論を学ぶ意義	講義	外部講師*		
第2回	家族の構造と機能 家族の歴史的变化	講義	外部講師*		
第3回	近代家族の形成 核家族、母の誕生、子どもの誕生	講義	外部講師*		
第4回	現代家族の特徴① 少子化と子育て	講義	外部講師*		
第5回	現代家族の特徴② 高齢化と家族	講義	外部講師*		
第6回	家族心理と家族関係	講義	外部講師*		
第7回	家族システム理論 家族発達理論	講義	外部講師*		
第8回	評価	評価 方法	筆記・レポート 100点		
備考					

授業計画

科目名	文化人類学	単位数 (時間)	1単位 (15)	履修 時期	3年次
科目 目標	多様な価値観・信条や文化背景から異文化を理解し、多様な人間の在り方を学ぶ。				
回	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第1回	文化人類学とは 文化人類学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第2回	人間と文化	講義	外部講師		
第3回	生活と文化	講義	外部講師		
第4回	伝統と文化	講義	外部講師		
第5回	性の多様性	講義	外部講師		
第6回	健康・病気・医療と文化	講義	外部講師		
第7回	生と死の文化	講義	外部講師		
第8回	評価	評価 方法	筆記・レポート 100点		
備考					

授業計画

科目名	物理学	単位数 (時間)	1単位 (15)	履修 時期	1年次
科目 目標	看護活動の基盤とするために物理学の基礎を理解する。				
回	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第1回	物理学を学ぶ意義	講義	外部講師		
第2回	単位	講義 演習	外部講師		
第3回	トルクとてこ	講義 演習	外部講師		
第4回	重心と安定、不安定	講義 演習	外部講師		
第5回	運動の三法則と力	講義 演習	外部講師		
第6回	圧力	講義 演習	外部講師		
第7回	熱	講義 演習	外部講師		
第8回	評価	評価 方法	筆記・レポート 100点		
備考					

授業計画

科目名	情報科学	単位数 (時間)	1単位 (30)	履修 時期	1年次
科目 目標	1. 情報科学の概念と情報処理に必要なパソコンの基礎知識、活用技術を身につける。 2. 医療における情報の活用と情報倫理の必要性を理解する。				
回	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第1回	情報教育システムの利用方法	講義 演習	外部講師		
第2回	インターネット、E-mail の利用方法	講義 演習	外部講師		
第3回	文献検索	講義 演習	外部講師		
第4回	情報リテラシー セキュリティと情報管理	講義 演習	外部講師		
第5回	Word の基本操作①	講義 演習	外部講師		
第6回	Word の基本操作②	講義 演習	外部講師		
第7回	Excel の基本操作① データ入力、計算式など	講義 演習	外部講師		
第8回	Excel の+基本操作② グラフの描写	講義 演習	外部講師		
第9回	Excel の+応用① オートフィル、絶対参照と相対参照	講義 演習	外部講師		
第10回	Excel の+応用② 関数の利用・関数の検索	講義 演習	外部講師		
第11回	Excel の+応用③ 統計処理	講義 演習	外部講師		
第12回	PowerPoint の+基本① スライド作成、デザイン・配色、スライドショー	講義 演習	外部講師		
第13回	PowerPoint の+基本② スライドの切り替え効果、図・表・グラフの挿入	講義 演習	外部講師		
第14回	医療・看護と情報 ICT、IOT	講義 演習	外部講師		
第15回	評価	評価 方法	筆記・レポート 100点		
備考	第1～4回は単位認定者も参加する				

授業計画

科目名	コミュニケーション論	単位数 (時間)	1単位 (15)	履修 時期	1年次
科目 目標	人間関係の基礎としてのコミュニケーションスキルを身につける。				
回	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第1回	人間関係の構築 対人コミュニケーションの特徴、 コミュニケーションの様々な形	講義	外部講師*		
第2回	対人交流パターンの分析 自らのコミュニケーションのあり方を見つめる	講義 演習	外部講師*		
第3回	人間関係とコミュニケーション	講義 演習	外部講師*		
第4回	受容的態度と共感	講義 演習	外部講師*		
第5回	アサーション アサーショントレーニング	講義 演習	外部講師*		
第6回	言語的コミュニケーション活用	講義 演習	外部講師*		
第7回	非言語的コミュニケーションの活用	講義 演習	外部講師*		
第8回	評価	評価 方法	筆記・レポート 100点		
備考					

授業計画

科目名	英会話	単位数 (時間)	1単位 (30)	履修 時期	2年次
科目 目標	基礎的な英会話を学び、日常生活や看護場面で活用できる力を養う。				
回	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第1回	日常英会話① Word、dialogue、movie、oral	講義	外部講師		
第2回	日常英会話② Word、dialogue、movie、oral	講義	外部講師		
第3回	日常英会話③ Word、dialogue、movie、oral	講義	外部講師		
第4回	日常英会話④ Word、dialogue、movie、oral	講義	外部講師		
第5回	日常英会話⑤ Word、dialogue、movie、oral	講義	外部講師		
第6回	日常英会話⑥ Word、dialogue、movie、oral	講義	外部講師		
第7回	日常英会話⑦ Word、dialogue、movie、oral	講義	外部講師		
第8回	看護場面の英会話①	講義	外部講師		
第9回	看護場面の英会話②	講義	外部講師		
第10回	看護場面の英会話③	講義	外部講師		
第11回	看護場面の英会話④	講義	外部講師		
第12回	看護場面の英会話⑤	講義	外部講師		
第13回	看護場面の英会話⑥	講義	外部講師		
第14回	看護場面の英会話⑦	講義	外部講師		
第15回	評価	評価 方法	筆記・レポート 100点		
備考					

授業計画

科目名	パフォーマンス論	単位数 (時間)	1単位 (15)	履修 時期	1年次
科目 目標	場面や役割に応じた意思の疎通を図るために、自己表現を意図的にコントロールする。				
回	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員		
第1回	日常生活におけるパフォーマンス セルフ・プレゼンテーション 自己開示の演習	講義 演習	外部講師		
第2回	自己開示の互惠性 自己開示と自己呈示 自己開示効果の演習	講義 演習	外部講師		
第3回	感情の表現・伝達 声量・速度・間のコントロール 自己演出の演習① シナリオ読みの演習	講義 演習	外部講師		
第4回	対人関係における表情の役 感情の表出 自己演出の演習② 情緒表出写真の撮影と調査	講義 演習	外部講師		
第5回	意思疎通のメカニズム 人間関係の構築過程 発言権交替の演習 会話におけるアプローチとリアクションの演習①	講義 演習	外部講師		
第6回	アイコンタクトによる印象形成 視線と凝視の演習 会話におけるアプローチとリアクションの演習②	講義 演習	外部講師		
第7回	対面距離と角度の影響 役割に応じた意思の伝達と反応の観察 会話におけるアプローチとリアクションの演習③	講義 演習	外部講師		
第8回	実技試験	評価 方法	レポート・実技 100点		
テキスト 参考図書	高山 昇 『入門パフォーマンス～ The performance』 作品舎 2021年 第3版				
備考	事前・事後学習、学習上の留意点等 授業期間中は、毎授業のリフレクションコメント(授業の振り返り)の提出と次回の予習が課題となる。 詳細は授業内、および学内クラウドシステムで連絡する。				